



じぎょうしょうかい とくいていそうだんしえん
～事業紹介～ 特定相談支援

とくいていそうだんしえんじぎょう ちよだくざいじゅう かた たいしょう そうだんしえん
えみふるの特定相談支援事業では、千代田区在住の方を対象とした相談支援サービスを行っております。

とくいていそうだん きほんそうだん けいかくそうだん ふた き の う にちじようてき そうだん ふく
特定相談は「基本相談」と「計画相談」の二つの機能があります。日常的な相談を含めた様々な相談事を受け止め、伴走し、助言等を行う「基本相談」を基盤としながら、それらに基づいて相談支援専門員が導き出した本質的なニーズを「計画相談」として計画書に落とし込むお仕事です。

ふくし そうだんしえん じゅうようせい にんしき くりつ しせつ せきむ
福祉における相談支援の重要性を認識し、これからも区立の施設としての責務を全うして参りますので、今後とも引き続きご理解の程よろしく願いたします。

はちみつ和花取り 扱い開始

とえいちかてつ いちがやえきこうない どうきょうとこうつうきょくえんせん
都営地下鉄市ヶ谷駅構内にある、東京都交通局沿線のセレクトショップ「とえいろ」さんにて、千代田区で採れた「はちみつ和花(のどか)」の小瓶の取り扱いが開始されました。

「はちみつ和花」は、えみふるが明治大学大森ゼミナールの協力を得て取り組んでいる養蜂プロジェクトから生まれました。蜜蜂は約3キロ圏内を飛び回ると言われていますが、圏内には皇居やきたのまるこうえん ひびやこうえん としん しぜん 自然があふれており、まさに千代田区の自然を凝縮した百花蜜です。

むでんか ひかねつ ほんらい ふうみ えいよう
無添加・非加熱にこだわり、はちみつ本来の風味と栄養がそのまま詰まっています。また、商品の瓶詰めやラベル貼りにはジョブ・サポート・プラザちよだの利用者さんが携っており、この活動が工賃向上にも繋がっています。

とえいちかてつ えんせん すてき たそうそろう
都営地下鉄の沿線にゆかりのある素敵なアイテムが多数揃う「とえいろ」さん。千代田区の自然と人々の温かい心が詰まったこの逸品を、ぜひ手に取ってみませんか。お近くにお越しの際は、ふらりと立ち寄って、とっておきの逸品を探してみはいかがでしょうか

てんぽじょうほう
【店舗情報】
とえいろ市ヶ谷店
〒102-0074
ちよだくくだんあみなみ
千代田区九段南4-8-22
とえいしんじゅくせんいちがやえき
都営新宿線市ヶ谷駅
でぐちほうめんかいさつがい
A1・A2出口方面改札外
えいぎょうじかん
営業時間
平日 8:00～20:00
土曜 10:00～19:00
定休日:日曜・祝日



かつ はんぱい
9～10月のパン販売

11:45～
販売
スタート!

さくらパーカー
9月 10月
3日(水) 1日(水)
17日(水) 15日(水)
22日(水)

カフェスツン
9月 10月
24日(水) 29日(水)

パソナハートフル
9月 10月
10日(水) 8日(水)

場所:えみふる前
※売り切れ次第終了

ちよだく す しょう かた
千代田区にお住まいの障がいのある方
とその家族の相談の場

しょう かた かぞく きぼう せいかつ じつげん む にちじようせいかつじょう こま
障がいのある方やその家族が「希望する生活」の実現に向けて、日常生活上の困りごとや不安の解消等、関係機関と連携してサポートします。

しょうだんれい
(相談例)
しょうがいふくし りょう しょう びょうき りかい しょうがいねんきん きんせんかんり しゅみ なら
障害福祉サービスの利用・障がいや病気の理解・障害年金や金銭管理・趣味や習いごと・日中活動の場・住まいのこと(一人暮らしやグループホーム)・家事・就労・家族や友人関係など..
ひとり なや かぞく かか こ そうだん
一人で悩まず、家族で抱え込まず ご相談ください

どうだんでんわ
相談電話 03(3291)0600(代)
受付時間 平日 9:00～17:00

お問い合わせ先
社会福祉法人武蔵野会(指定管理者)
千代田区立障害者福祉センターえみふる
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-5
開館時間:平日 9:00～21:00
土日祝日 9:00～17:00
(第2土曜日、12月29日～1月3日休み)
TEL 03-3291-0600 FAX 03-3291-0608
E-mail emifuru@chime.ocn.ne.jp
ホームページ https://emifuru.com
ご意見・ご感想をお待ちしています。



ちいき ひら しょう しゃしせつ めざ こうほうし
地域に開かれた障がい者施設を目指す広報誌

えみふる

ねん れいわ ねん
2025年(令和7年)
9・10月号



のうりようさい 納涼祭ボランティアのみなさんと

なつ あやど きずな のうりようさい
夏を彩る、絆の納涼祭

ねん かつ にち どうようび のうりようさい せいたい かいさい ことし もうしょ なか かたがた らいじょう かっさ えがお み すば いちにち
2025年7月19日(土曜日)、えみふる納涼祭が盛大に開催されました。今年も猛暑の中、たくさんの方々にご来場いただき、活気と笑顔に満ちた素晴らしい一日となりました。関係者を含め400人を超える来場者数を記録し、この祭りが地域の夏の風物詩として定着していることを改めて実感いたしました。

のうりようさい ぶじょう えい しやしん うつつ みなさま た き きょうりょく みなさま
この納涼祭を無事運営することができたのは、ひとえに、この写真に写るボランティアの皆様をはじめ、多岐にわたるご協力をくださったすべての皆様のおかげです。

じゅんぴだんかい どうじつ うんえい あとかたづ いた みなさま けんしんてき じんりょく まつ ぶ し お
準備段階から当日の運営、そして後片付けに至るまで、皆様の献身的なご尽力なくしては、この祭りを無事に終えることはできませんでした。模擬店で汗を流してくださった方、会場の案内や安全確保にご協力くださった方、そして祭りを盛り上げるために様々な形でご支援くださった協力団体の皆様。お一人おひとりの温かいお気持ちとご協力が、来場された皆様の心に温かい思い出として刻まれたことと存じます。

みなさま きずな ふか なつ いちにち こころ かんしゃもう あ らいねん みなさま ふたた えがお あ こころ たの
皆様との絆をさらに深めることができたこの夏の一日に、心から感謝申し上げます。来年も皆様と再び笑顔でお会いできることを心から楽しみにしています。皆様の笑顔が、私たちにとって何よりの励みです。本当にありがとうございました。

ことし かい かつよう
 今年は1階ピロティも活用しました



キッチンカーと模擬店
 今年のえみふる納涼祭は、これまでの形式を一新する新たな試みに挑戦しました。例年、祭りは室内で開催されていたため、外を歩く人々には賑わいが伝わりにくく、「何が開催されているのだろう？」と感じさせてしまうことが課題でした。そこで、私たちはより多くの人にお祭りの楽しさを知ってもらうべく、1階のピロティスペースを会場として活用することにしました。このピロティをどう活かすか検討を重ねた結果、通りに面した開放的な空間に、地域の魅力が詰まった美味しい食べ物を集めることにしました。今回は、農家支援を目的としたこだわりのキッチンカーと、子どもから大人まで大人気の焼き餃子やかき氷の模擬店にお越しいただきました。祭りが始まるやいなや、香ばしい匂いや賑やかな声がピロティから通りにまであふれ出し、多くの人々が足を止めてくださいました。「楽しそうなことをやっているね」「美味しそう！」「と興味を持ってくださった方が次々と会場に入り、例年以上の来場者数につながったのです。ピロティは、地域の人々が自然と集い、笑顔で交流する場となりました。子どもたちがキラキラした目でかき氷を選ぶ姿、大人たちが熱々の焼き餃子を囲んで楽しそうに談笑する姿は、まさに私たちが目指していた光景そのものです。この開放的な空間が、見知らぬ人同士の会話を生み、地域の絆を深めるきっかけとなりました。この新たな取り組みが実現したのは、これまで停車スペースとして使われていた場所が、地域の交流拠点へと生まれ変わったことです。それは、私たちにとって大きな喜びです。この成功は、地域の皆様の声と協力がなければ実現しませんでした。この成功体験を活かし、来年もさらに多くの笑顔と出会えるよう、ピロティをより魅力的な空間にしていきたいと考えています。



たの きれい も
 楽しい企画が盛りだくさん



笑顔あふれるステージと多彩な企画
 今年のえみふる納涼祭は、参加型の楽しい企画で大いに盛り上がりしました。祭りの幕開けを飾ったのは、毎年恒例、神田一橋中学校和太鼓部の皆さんによる力強い和太鼓演奏。その迫力ある響きは、会場に集まった人々の心を一つにしました。恒例のリハビリ盆踊りでは、誰もが楽しそうに踊る姿が見られました。また、子どもたちに大人気のリトミックも行われ、会場は元気な声と笑顔で満たされました。パーティシパ



ンによる参加型の素敵なパフォーマンスでは観客を魅了。子どもから大人まで、会場全体が一体となってショーを楽しみました。そして、今年初となる「ちよダン」さんによる区歌ダンスでは、参加者が千代田区の歌に合わせて踊り、地域の一体感をさらに深める素晴らしい機会となりました。

こころみだされるたいけん
 心満たされる体験
 ステージの熱気以外にも、納涼祭を彩る楽しい企画が盛りだくさんでした。自分だけのオリジナルうちわ作りワークショップは、子どもたちに大人気。心身を癒す福祉ネイルやタッチケアの体験コーナーでは、日頃の疲れを癒したいと多くの人が訪れました。また、えみふるで人気の公開講座となっているポッチャやモルックの体験コーナーも開催。年齢や体力に関係なく誰もが楽しめるユニバーサルスポーツとして、多くの方にその魅力を知っていただく良い機会となりました。昔懐かしい射的や駄菓子屋さんは、世代を超えて楽しみ、えみふる養蜂プロジェクトのはちみつ「和花」や焼菓子の販売、ちよだんごカフェの焼だんご販売など、心もお腹も満たされる企画が盛りだくさんでした。



えみふる公式
 Instagram
 では
 日々の出来事を
 発信中

@chiyoda.emifuru



せいかつかいご
 #生活介護

chiyoda.emifuru
 千代田区立障害者福祉センターえみふる

7月に入り、暑さが厳しい季節になったため、アクティブグループの近隣散策はしばらくお休みとなりました…。しかし、近隣散策に行けなくてもレクリエーションでしっかり身体を動かしています！階段昇降やハードル走、ボール投げゲーム、動画に合わせたリズム体操等飽きないようバリエーションを増やしています。暑さに負けず元気に過ごしていきます！！

おちゃのみず
 #ぷらっと御茶ノ水

chiyoda.emifuru
 千代田区立障害者福祉センターえみふる

ぷらっと御茶ノ水で育てていた枝豆ですが、収穫2日前にネズミに全部かじられてしまいました。畑の講習会で報告したら、異常気象の影響もあり、通常の2週間前に収穫すると良いとアドバイスがありました。早めに秋冬野菜に向けて土づくりを行い、収穫時期も考慮して育てていきたいと思っています。

#ふあみりあ

chiyoda.emifuru
 千代田区立障害者福祉センターえみふる

7月19日(土)に開催されたえみふるの納涼祭に参加しました！やさそばや焼きだんご等夏祭りらしい食事を楽しんだり、模擬店や盆踊りとみんなで楽しみ、夏の良い思い出が出来ました。まだまだ暑い日が続きますが、夏を楽しんでいきたいと思ひます！！

ちいきかつどうしえん
 #地域活動支援センター

chiyoda.emifuru
 千代田区立障害者福祉センターえみふる

社会酒応支援チームで豊洲市場を訪問しました。新橋駅からは東京BRTを利用して移動。車窓からの景色も楽しみながら市場に到着。市場ではセリ場やギャラリーの見学と美味しい昼食を楽しみました。市場で使うターレーの前で記念撮影を行い、参加者同士の交流や会話が弾みました。